

平成28年  
4月14日

# 日本政策金融公庫国民生活事業徳島支店殿と TKC四国会徳島支部との情報交換会

開催報告



平成28年4月14日に、日本政策金融公庫国民生活事業徳島支店殿とTKC四国会徳島支部との交流会が山中敏行税理士事務所で開催されました。日本政策金融公庫からは銭谷事業統轄をはじめ4名、TKC徳島支部からは藤井修副支部長をはじめ3名が参加しました。



徳島支部では山中敏行税理士事務所を見学事務所を選定いたしました。所長の山中先生、システム専任講師の高瀬さんの話は、他の事務所の範となる事務所です。思う存分見学してってください。



日本政策金融公庫  
銭谷 真二 事業統轄

TKC会員事務所における巡回監査は中小企業にとって一番のサービスだと感じています。巡回監査をやっているため、金融機関として安心して融資ができます。今後ますます連携を深めていきましょう。

TKC四国会徳島支部  
藤井 修 副支部長

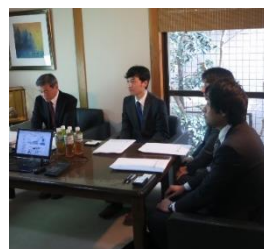


## 当事務所(TKC会員事務所)の業務の概要

税理士になる前は、信用保証協会で働いていました。40年前の当時、先輩から税理士が作成する決算書は信用するものではないと教えられていました。税理士になって決算書を作る立場になると、どういふ「決算書」を作成すればいいのか。TKC徳島支部会員そして支部長になって全国のTKC会員と切磋琢磨するなかで、TKC理念に沿った業務が重要だと理解できるようになりました。真正な事実に基づいて適時・適法・正確な決算書を作成することが税理士の使命と思うようになったからです。取引は事実か、証拠力は確保できているか等、これらを確認するために毎月巡回監査を実施しています。



TKC四国会徳島支部  
山中 敏行 会員



巡回監査をなるべく早く終了させ、経営に関する社長さんとのコミュニケーションに時間をかけるために、お客様にセルフチェックをさせていただいております。お客様はセルフチェックをすることで格段に経理能力が向上します。巡回監査のツールは「巡回監査支援システム」を活用しています。今回ある部門を撤退すると意思決定した社長さんがいました。これは、FX2というシステムを利用しているからこそできた経営判断です。通常の損益計算書だけをみていたら、判断を間違えてしまいます。なので、TKC会員事務所では、この変動損益計算書をベースに経営者と話をし黒字決算の実現を支援しています。まさに会計で会社を強くするです。一方で、粉飾はしていないという担保として書面添付を実施しています。



TKC四国会徳島支部  
システム専任講師  
高瀬 裕司 氏



## 日本公庫参加者の皆さんからの感想

- ①山中先生が書面添付をされるこだわりについて感動しました。TKCの先生から書面添付を提出いただいた場合、より迅速に対応いたします。
- ②金融機関はコンサルティング機能の発揮を求められており、本日の交流会でTKC会員事務所となら発揮できると確信しました。今後も連携をお願いします。
- ③これまで、TKCマークの入った決算書を見るとラッキーと思っていました。徳島には赤字企業が多いこと、決算書が信頼できないケースが多いことが背景です。TKCマークが入った決算書は、もともと信頼していましたが、会計で会社を強くすること、決算書の信頼性の背景がよくわかりました。
- ④そもそも会計事務所がどのような仕事をしているか知りませんでした。本日の交流会で、会計事務所の業務内容とTKCがいう会計で会社を強くするの意味がよくわかった。



参加者

日本政策金融公庫国民生活事業徳島支店：銭谷均事業統轄、松木健太郎融資課長、田坂尚登 席課長代理、菅脇拓真課長代理  
TKC四国会徳島支部：藤井修副支部長、山中敏行会員、高瀬裕司氏

作成：TKC四国SCGサービスセンター